

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日：9/5/2018

- 参加プログラム：AUA UM Tropical Camp
- プログラム情報：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-summer.html>
- 派遣先大学：マラヤ大学
- プログラム期間：8/5/2018 ～ 8/12/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等：法学部
- 学年(プログラム開始時)：学部4

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
他の予定との都合上夏休みの前半がよかった。
■参加を決めるまでの経緯：
インドネシアに幼少期に住んでいたこともあり、東南アジアには関心があった。また、キャンプもしたことがなかったので経験してみたいと思っていた。授業や帰省など他の都合との兼ね合いも考えると、時期的にも都合がよいのがこのプログラムだった。

プログラムについて

■概要：
3泊のキャンプがメインで、マレーシアの自然・文化を学ぶ機会が提供された。カエルを素手で捕まえるなど、東京にはなかなかできないような貴重な経験ができたほか、アジア各国からの学生と友達になった。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
スポーツ、文化活動
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：
プログラムの中で、クアラルンプール市内の観光やアーチェリー体験などが組み込まれていた。
■週末の過ごし方：
友人とナイトマーケットに行くなどした。

派遣先大学の環境について

■設備：
キャンプがメインだったので大学設備を使う機会はあまりなかった。
■サポート体制：
現地の学生、職員などが常に帯同してサポートしてくれた。

プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
アパートなどの賃貸
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
大学の指定のアパートで4人ほどのルームシェア。キャンプ中はテント。

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
雨期だったこともあり気温は過ごしやすかった。大学周辺はモールなどもあり便利。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情：
現金は 10,000 円分のみ持って行って十分だった。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：
お腹を壊しやすいので食べ過ぎないように気を付けた。
■ 自由時間に利用した交通手段：
Uber
■ プログラム期間中に利用したネット環境：
キャンパス Wifi、SIM

参加前の準備・手続きについて

■ プログラムへの参加手続き：
国際交流課と現地のオフィスからの指示通り行えば問題ない。
■ ビザの手続き：
なし
■ 医療関係の準備：
ジャングルに行くこともあり、破傷風と A 型肝炎の予防接種を受けた。下痢止めも役に立った。
■ 保険関係の準備：
東大の指示に従った。
■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：
なし
■ 語学関係の準備：
TOEFL のスコアが必要だったので TOEFL を受けた。英語はドラマなどを観ながら毎日勉強していた。

費用・奨学金に関すること

■ 参加するために要した費用：	
航空費	60,000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	0 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	4,390 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■ その他、補足等：	
■ 留学先で費やした生活費：	
家賃	0 円
食費	5,000 円
交通費	0 円

娯楽費	5,000 円
■その他、補足等：	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無：	
受給しなかった。	

プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：
電気もネットもトイレもない環境で過ごすのは初めてだったので、非常に新鮮だった。また、アジア各地から来た学生たちと一週間ずっと一緒にいたことでかけがえのない友情をはぐくむことができた。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：
法曹志望はドメスティックになりがちだが、国という枠組みにとらわれないような働き方をしたいと思う。
■進路・就職先(就職希望先)：
専門職(法曹・医師・会計士等)、弁護士・検察官
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：
社会人になってからこのようなプログラムに参加することは簡単ではないと思うので、学生のうちにいろいろやっておいたほうがいい。
■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物：
東大 Go Global

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 8/13/2018

- 参加プログラム: AUA UM Tropical Camp
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-summer.html>
- 派遣先大学: マラヤ大学
- プログラム期間: 8/5/2018 ~ 8/12/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時): 学部 2

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:
S セメスター終了後だったため。
■参加を決めるまでの経緯:
マレーシアを訪問したことが無かったこと、滞在費が無料であることなどが参加の決め手となった。

プログラムについて

■概要:
天然雨林でキャンプをしながら、マレーシアの自然や文化に触れる。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:
プログラムの正規の活動で忙しく、プログラム期間も短かったため。
■週末の過ごし方:
クアラルンプール市内を韓国人の友人と観光した。

派遣先大学の環境について

■設備:
特に困ったことは無かった。
■サポート体制:
現地の大学職員やバディの学生さんたちが手厚くサポートして下さった。

プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:
キャンプ中はテントに泊まり、それ以外の日はホテルに滞在した。
■宿泊先の様子、どのように見つけたか:
宿泊先はマラヤ大学から提供され、とても綺麗で快適だった。
■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:
気候は東京よりも涼しく、快適だった。交通機関・食事共に種類が充実しており、何も問題は無かった。
■お金の管理方法、現地の通貨事情:

現金を財布で管理した。
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
複数人で出歩くようにした。
■自由時間に利用した交通手段:
タクシー、列車、バス
■プログラム期間中に利用したネット環境:
ホテル室内の Wifi

参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
主にマラヤ大学からの指示に基づいて、書類の提出を進めた。
■ビザの手続き:
ビザの取得は不要だった。
■医療関係の準備:
虫除けと頭痛薬を持参した。
■保険関係の準備:
東京大学が指定した海外旅行傷害保険に加入した。
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
特に無し。
■語学関係の準備:
特に無し。

費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	130,000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	0 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	5,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	3,000 円
交通費	10,000 円
娯楽費	4,000 円
■その他、補足等:	

■プログラム参加のための奨学金の受給有無:

受給しなかった。

プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:

マレーシアの自然や文化に対する理解を深めると共に、アジア各国の優秀な友人を作ることが出来た。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:

外交官になりたいという思いが一層強くなった。

■進路・就職先(就職希望先):

公的機関、外交官

■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

現地に実際に行ってみて初めて学べることというのは非常に多いので、参加を強くお勧めします。

■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物:

地球の歩き方